

令和7年度 学校評価に係るアンケート調査結果

青森県立五所川原高等学校 定時制課程

集約日 令和8年1月15日（木）

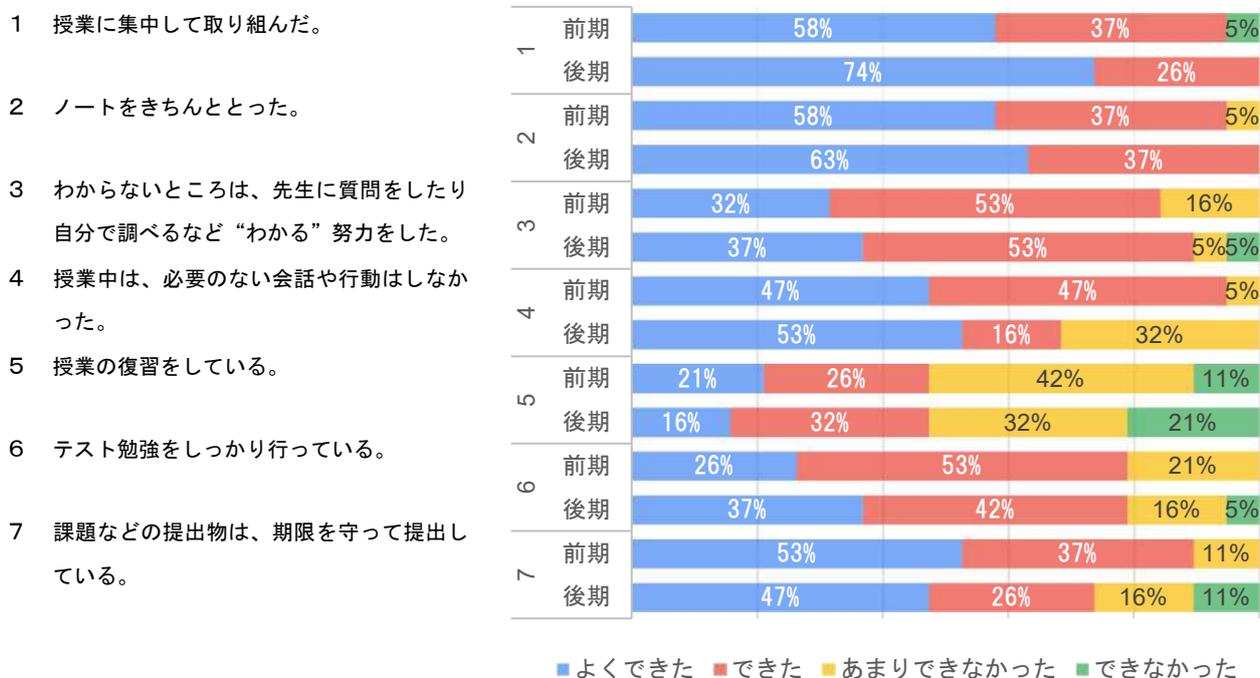
内容

(1) 生徒によるアンケート	1
(2) 保護者アンケート	3
(3) 教職員アンケート【学校評価】	6

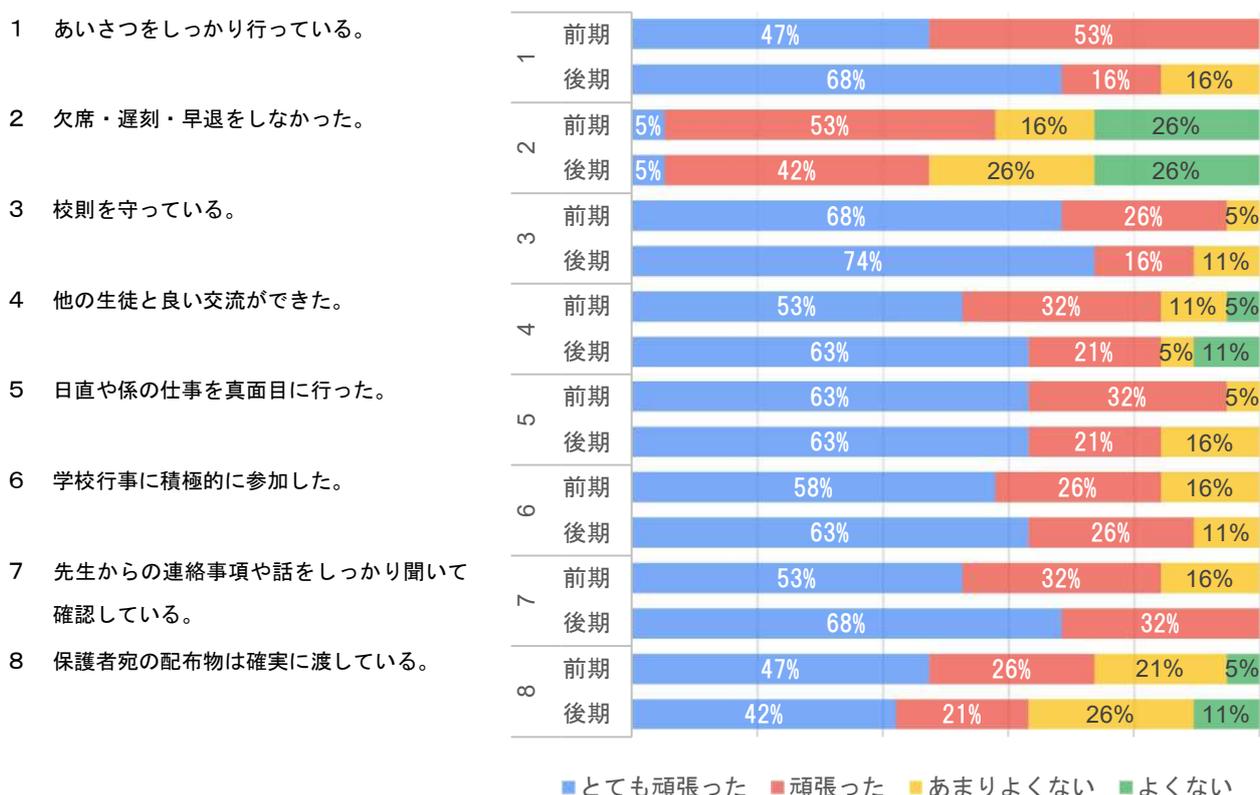
(1) 生徒によるアンケート

在籍生徒【1年次10名 2年次6名 3年次3名 計19名】 R7.12.23実施

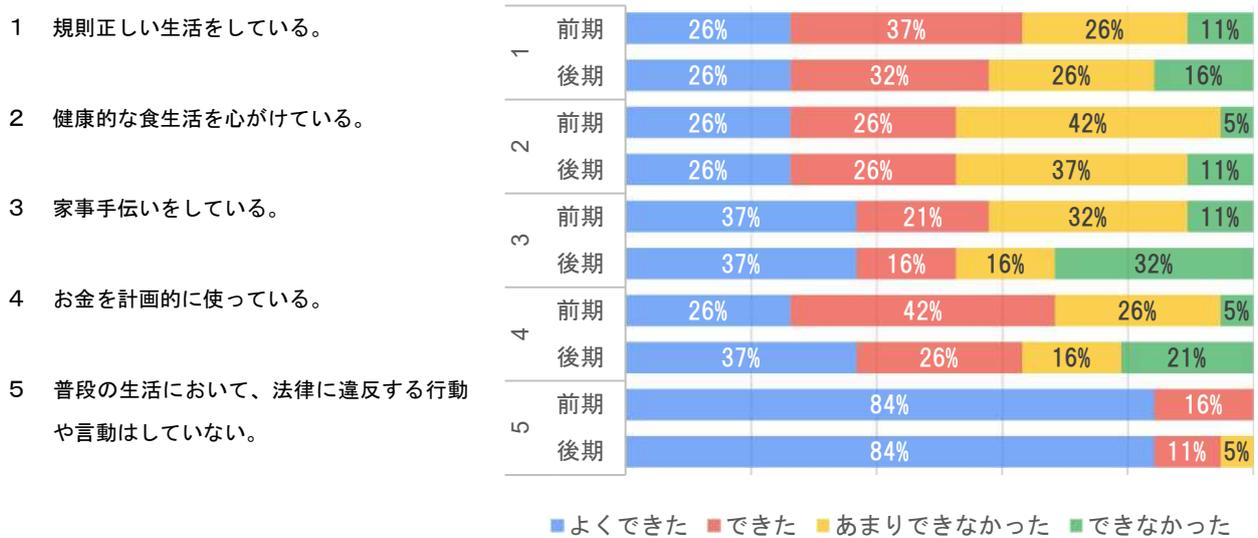
学習活動について



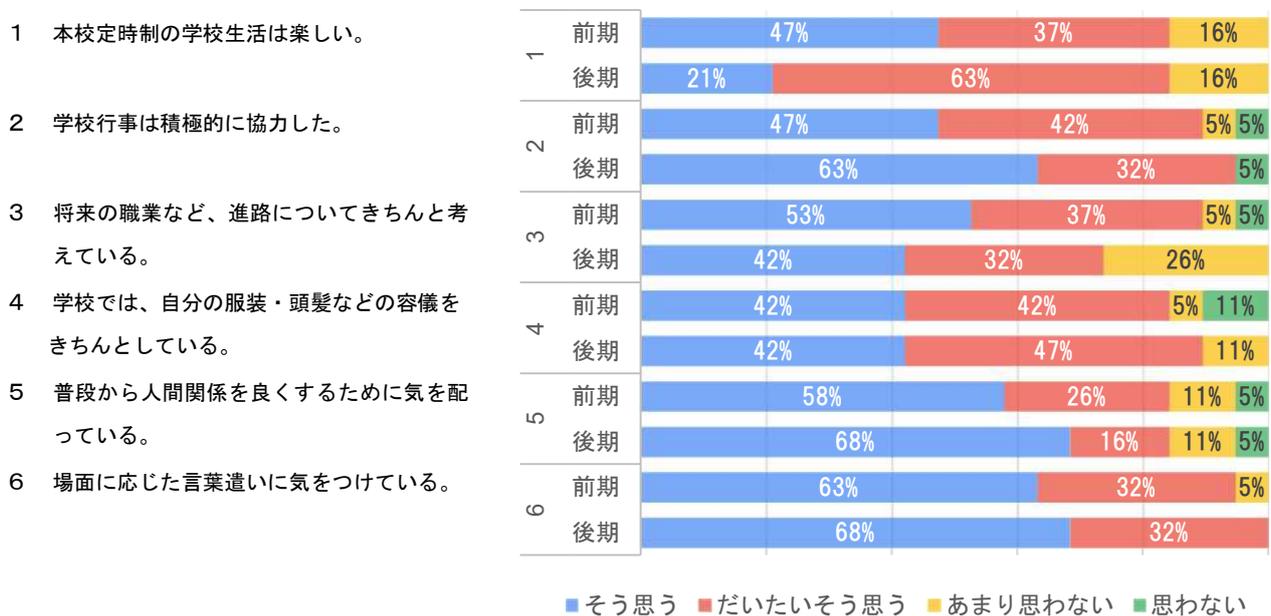
学校生活について



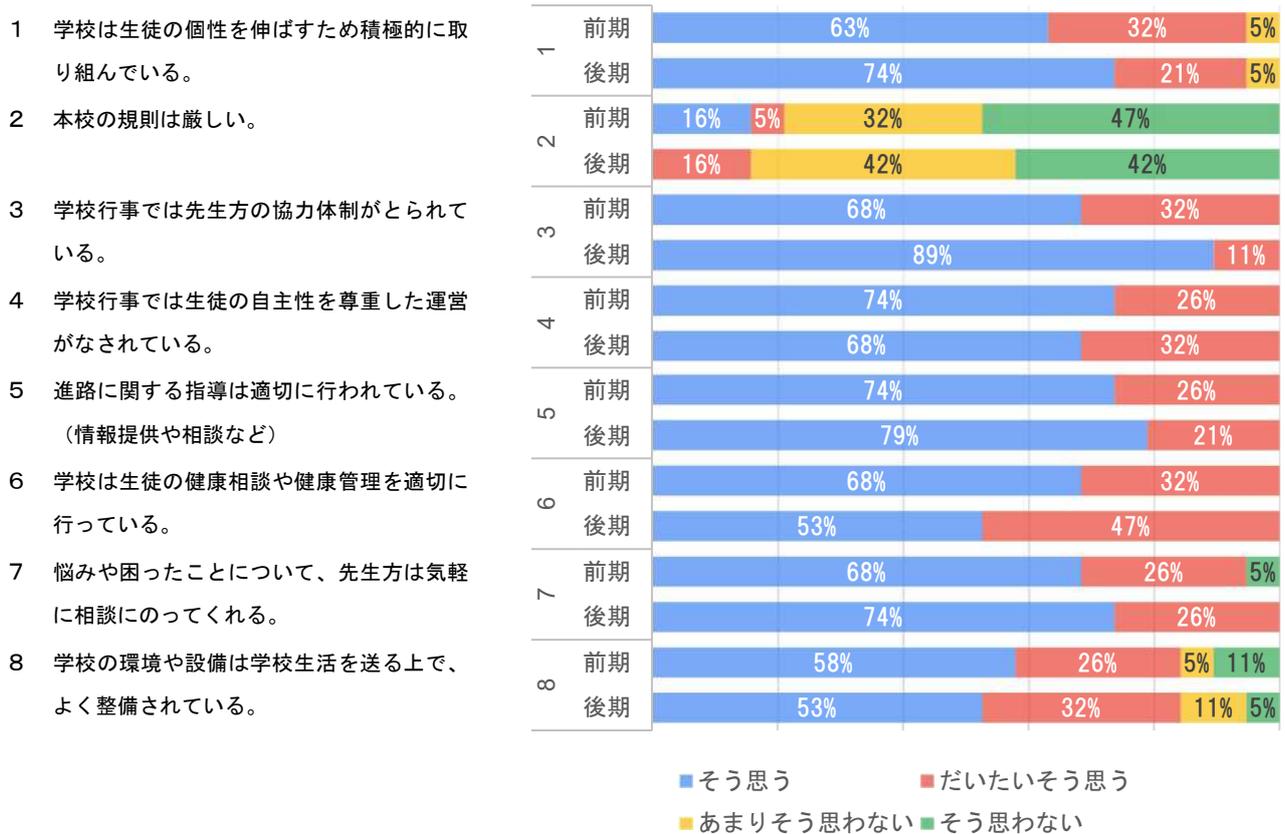
普段の生活について



学校活動全般（各自の取組に対する感想）



学校の取組に対する感想

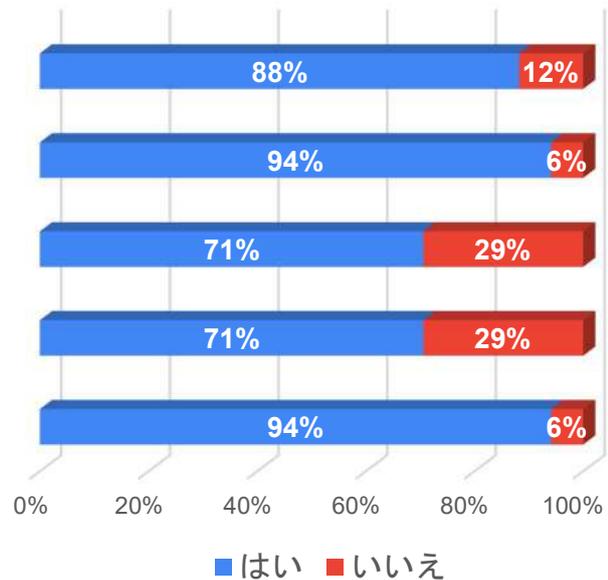


(2) 保護者アンケート

- 1 年次保護者 (10名 / 10) 100% (回答率)
 2 年次保護者 (6名 / 6) 100% (回答率)
 3 年次保護者 (1名 / 3) 33% (回答率)

保護者の皆様に関する質問

- ア 学校行事やPTA活動に参加するようにしていますか？
 イ 日頃から、学校の様子を、お子様から聞いていますか？
 ウ 本校の教育目標は御存じですか？
 エ 本校定時制のホームページを御覧になったことはありますか？
 オ テストや学校行事の日程などは御存じですか？



お子様についての質問

ア 本校での学習指導全般（授業その他）に満足していると思いますか？



イ 学校の行事全般に満足していると思いますか？



0

ウ 学校のキャリア教育（進路指導）に満足していると思いますか？



エ 学校生活に充実感を持てていると思いますか？



0% 20% 40% 60% 80% 100%

■ 思う ■ だいたい思う
 ■ あまり思わない ■ 思わない
 ■ よくわからない

学校全般に関する質問

ア お子様が社会人として必要な生活習慣を身に付けられるよう適切に指導していると思いますか？



イ お子様の実態や適性に応じた適切な指導をしていると思いますか？



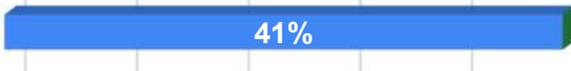
ウ 生徒一人一人の進路希望を達成させるための適切な進路指導を行っていると思いますか？



エ 学校の施設・設備はお子様学習するために必要な道具や設備が整備されていると思いますか？



オ 事故や怪我、病気などに対する学校の処置や対応は適切だと思いますか？



カ お子様にとって、学校は居心地の良い場所になっていると思いますか？



キ 家庭との情報交換を密にし、生徒理解や動向把握を適切に行っていると思いますか？



ク 入学式や卒業式を全日制と分けて行っていますが、今後もこのやり方で良いと思いますか？



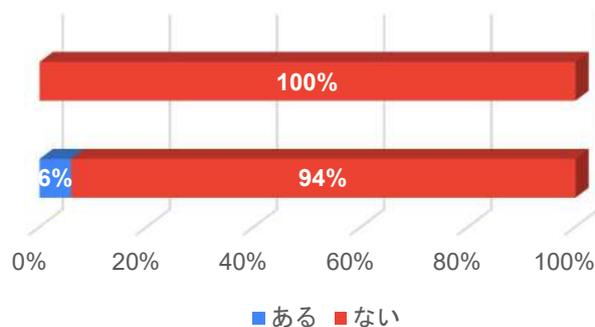
0% 20% 40% 60% 80% 100%

■ だいたい思う ■ あまり思わない
 ■ 思わない ■ よくわからない

「いじめ」等に関する質問

ア 今年度、お子様から「いじめ」を受けた、又は受けているという話を聞いたことがありますか？

イ 今年度、お子様から他の生徒が「いじめ」を受けた、あるいは受けているという話を聞いたことがありますか？

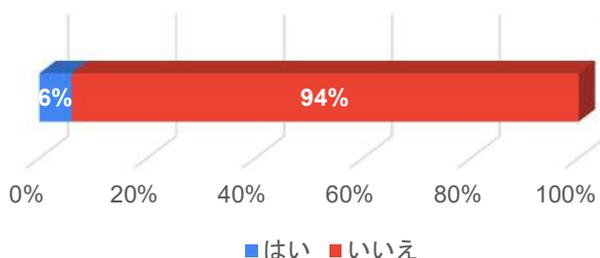


ウ イについて、いつ頃、どのような内容でしたか？

時期 5月頃

内容 約束したが他の子を優先されたり、その子がダメなら自分の娘への自分本意の思考に振り回されていて学校へ行きたくないと言っていた。現在は、自ら距離を縮めないように（傷つきたくない）あまり深く関わりを持たないようにしていると聞いている。（1年次保護者）

エ 今年度、お子様から学校を辞めたい、転校したいという話を聞いたことがありますか？



オ エについて「やめたい」「転校したい」と言ったのはいつ頃ですか？

時期 5月頃 （1年次保護者）

質問や意見、要望など

(1) 女子生徒が多いので、洋式トイレをもう少し設備の整ったタイプ（ウォシュレット付き）等にしてもらえたら、女子事情に関しても良いのではないかと考えます。（1年次保護者）

回答 校舎の老朽化に伴い、本校は2026年（R8）から改築工事が始まり、2028年（R10）には、定時制棟及び管理棟が解体されるため、現時点では定時制棟設備の新設などは難しい状況です。生徒には不便をおかけしますが、御理解下さるようお願いいたします。

(2) それぞれの生徒に合ったきめ細やかな対応をしていただいていることに感謝いたします。（1年次保護者）

回答 今後も職員間の情報共通と保護者の方々との連携を充実させ、一人ひとりに寄り添った指導に努めますので御協力をお願いします。

(3) 男性教諭が行事等で写真撮影担当になっているのだと思うが、不快感不信感を抱いている。女子生徒との距離感が近すぎる点は改善されていない。（1年次保護者）

回答 生徒に対して不適切な指導や行為が行われないう、管理職による定期的な面談や研修機会を設定し、生徒に不快感や不信感を与えないよう問題意識をもって教育活動を実践します。

(3) 教職員アンケート【学校評価】

学校運営全般について

質 問 項 目	4段階評価（人数）				後期 平均	前期 平均	総合
	4	3	2	1			
① 学校経営方針について、職員会議等で共通理解が図られている。	6	3			3.7	3.4	3.6
② 学校経営計画で示された各分掌の目標及び計画は、学校の実態に即した具体的なものとなっている。	4	5			3.4	3.6	3.5
③ 教職員が同僚性を高め、意欲的な姿勢で学校課題解決に取り組んでいる。	2	7			3.2	3.1	3.2
④ 分掌内における意思疎通を図り、前年度の課題や反省を踏まえながら学校運営に取り組んでいる。	7	1	1		3.7	3.2	3.4
⑤ 積極的なICT機器の活用等を通じて、業務改善・効率化に率先して取り組んでいる。	4	3	2		3.2	3.0	3.1
⑥ 危機管理マニュアルを理解するとともに、生徒が安心・安全に学校生活が送れるように施設管理・清掃に気を図っている。	3	3	2	1	2.9	3.1	3.0
⑦ 生徒一人ひとりの人間性を尊重し、優しさ・温かさのある教育相談を実践している。	7	1	1		3.7	3.6	3.6
⑧ 生徒の主体性と連帯感・自己有用感の醸成につながる学校行事等を計画的に実施している。	3	4	2		3.1	3.4	3.3
⑨ ICT機器の活用等による授業改善に取り組むとともに、生徒に学習習慣を身に付けさせるよう指導している。	1	6	2		2.9	3.2	3.1
⑩ 生徒の適切な理解のために情報交換の場を持ち、全教職員で指導に役立っている。	6	2	1		3.6	3.4	3.5

教務部について

質 問 項 目	4段階評価（人数）				後期 平均	前期 平均	総合
	4	3	2	1			
① スクール・ミッションや生徒の実態に即した教育課程の見直し・検討が適切に行われている。	5	3	1		3.4	3.4	3.4
② 学校行事の企画・調整・運営がよく行われている。	5	3	1		3.4	3.6	3.5
③ 授業日数・時数の確保がよく行われている。	8	1			3.9	3.7	3.8
④ 授業改善に向けた取組がよく行われている。	5	2	1	1	3.2	3.1	3.2
⑤ 生徒の可能性を伸ばす指導のために、校内規程の見直しや適切な学習評価の在り方の検討が行われている。	4	4	1		3.3	3.4	3.4
⑥ 地区中学校・地域との連携を深め、広報活動が行われている。	3	5	1		3.2	2.9	3.1
⑦ 表簿の整理・管理がよく行われている。	7	2			3.8	3.6	3.7

生徒指導部について

質 問 項 目	4段階評価（人数）				後期 平均	前期 平均	総合
	4	3	2	1			
① 教職員間の共通理解を図り、継続的に基本的生活習慣に関する指導が行われている。	3	5	1		3.2	3.3	3.3
② 生徒について情報を共有し、いじめ・不登校の未然防止と出席状況の把握を行っている	7	2			3.8	3.6	3.7
③ 日々の観察や声掛け、教育相談を通して生徒との信頼関係を構築し、指導・支援に生かしている。	6	3			3.7	3.7	3.7
④ HR・全校集会、行事など学校生活の中で、継続的に安全指導、健康指導を行っている。	3	5	1		3.2	3.4	3.3
⑤ 校内外指導の計画と実施がよく行われている。	2	6			3.0	3.1	3.1
⑥ 保護者等との連携がよく行われている。	2	6	1		3.1	3.3	3.2
⑦ 生徒会活動で生徒相互の協力や連携が図られている。	5	3	1		3.4	3.3	3.4
⑧ 各種行事への積極的参加を推進し、主体性や創造性を養っている。	4	2	3		3.1	3.4	3.3
⑨ 各年次や他分掌との連携がよく行われている。	6	2	1		3.6	3.3	3.4

進路指導部について

質 問 項 目	4段階評価（人数）				後期 平均	前期 平均	総合
	4	3	2	1			
① 企業見学会等をとおして、生徒の勤労観・職業観の育成が行われている。	4	3	1	1	3.1	3.3	3.2
② 個人面談・進路相談等により、生徒一人ひとりの自己理解を深めさせている。	4	4	1		3.3	3.2	3.3
③ 定期考査や一般常識テストへの積極的参加を促し、進路実現に向けて学習する態度の育成が行われている。	3	6			3.3	3.1	3.2
④ 進路指導に関わる情報の収集・提供及び情報共有がよく行われている。	2	6	1		3.1	2.8	2.9
⑤ 各年次や他分掌と連携し、生徒と保護者のニーズを踏まえた進路指導が行われている。	3	4	2		3.1	3.1	3.1
⑥ 外部機関と連携して、生徒へ適正な職業紹介を行っている。	4	3	1	1	3.1	3.0	3.1

渉外部について

質 問 項 目	4段階評価（人数）				後期 平均	前期 平均	総合
	4	3	2	1			
① PTA・後援会・同窓会等と連携し、教育活動への支援がよく行われている。	2	6	1		3.1	3.1	3.1
② 保護者懇談会・研修等を実施し保護者・教職員相互の交流と研修を深めている。	2	5	1	1	2.9	3.0	2.9

事務部について

質 問 項 目	4段階評価（人数）				後期 平均	前期 平均	総合
	4	3	2	1			
① 私費会計の適正かつ効率的な執行が行われている。	4	5			3.4	3.9	3.7
② 施設・設備の適正な維持・管理が行われている。	2	4	3		2.9	3.0	2.9
③ 職員や父母など、関係者との連携や情報交換がうまく取れている。	3	6			3.3	3.3	3.3

1年次について

質 問 項 目	4段階評価（人数）				後期 平均	前期 平均	総合
	4	3	2	1			
① 挨拶や時間厳守を励行し、基本的な生活習慣やマナーの育成が行われている。	4	5			3.4	3.3	3.4
② 日常の観察や対話、個人面談等を丁寧に行い、生徒理解に取り組んでいる。	8	1			3.9	3.8	3.8
③ 安心して学習に臨み、自ら学ぼうとする態度を身につけられるよう支援している。	8		1		3.8	3.7	3.7
④ 学校行事やホームルーム活動等、様々な教育活動の中で、協調性や思いやり、互いを尊重する心の育成に取り組んでいる。	6	2	1		3.6	3.7	3.6
⑤ 保護者との情報共有を密に行い、信頼関係を深めながら連携して生徒支援にあたっている。	8	1			3.9	3.6	3.7

2年次について

質 問 項 目	4段階評価（人数）				後期 平均	前期 平均	総合
	4	3	2	1			
① 挨拶やホームルームの係活動などを励行し、規則正しい学校生活を送るよう支援し自己有用感を高めている。	4	4	1		3.3	3.4	3.4
② 日常の観察や定期的な面談による対話を丁寧に行い、一人ひとり生徒理解を深めている。	7	2			3.8	3.8	3.8
③ 生徒が積極的な態度で授業に参加し、学習内容の定着を目指して努力するよう指導している。	4	4	1		3.3	3.2	3.3
④ 学校行事、ホームルーム活動をとおして、好ましい人間関係づくりに取り組んでいる。	7	1	1		3.7	3.4	3.6
⑤ 具体的な進路情報を提供し、生徒一人一人に課題を明確にさせることで進路意識を高めている。	3	4	2		3.1	3.1	3.1
⑥ 保護者と日頃から情報共有を行い、信頼関係を築きながら共に生徒支援にあたっている。	5	3	1		3.4	3.3	3.4

3年次について

質 問 項 目	4段階評価（人数）				後期 平均	前期 平均	総合
	4	3	2	1			
① 挨拶や時間厳守を励行し、基本的な生活習慣やマナーの育成が行われている。	4	5			3.4	3.4	3.4
② 日常の観察や対話、個人面談等を丁寧に行い、生徒理解に取り組んでいる。	6	3			3.7	3.6	3.6
③ 希望進路の達成に向けて、自ら学ぼうとする態度を養い、それぞれの課題の解決に向けて計画的に取り組めるよう、支援している。	3	5	1		3.2	3.3	3.3
④ あらゆる教育活動をとおして、人との関わり方を学び、協力しあいながら好ましい人間関係づくりに取り組んでいる。	5	4			3.6	3.4	3.5
⑤ 保護者との情報共有を密に行い、信頼関係を深めながら連携して生徒支援にあたっている。	4	5			3.4	3.4	3.4

意見や要望など

- (1) 次年度は、Edv-Path のアセスメント機能だけでなく、探究の時間でも活用できるよう、内容を計画していければ良いと考えている。
- (2) 生徒の進路に対する視野を広げるために、キャリア教育の充実が必要であると感じる。
(卒業生から話を聞く機会を設ける、適職診断を実施するなど・・・)

(様式1)

令和7年度 学校評価結果報告書(高等学校用)

(1) 学校教育目標	校訓として、「敬愛、叡知、進取」を掲げ、「力行天下第一」の教育信条のもとに研鑽を積むことにより、自己実現を図り、社会の変化に主体的に対応しつつ、その発展に寄与できる心豊かな人間を育成する。
(2) 現状と課題	ア 基礎学力の定着と向上を図り、自己指導能力を獲得するための「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図る必要がある。 イ コミュニケーションスキルを高める積極的な生徒指導の実践に向けて、組織力向上を図る必要がある。 ウ 学ぶことと自己の将来とのつながりを見通す力を養い、社会的・職業的自立に向けたキャリア教育を充実させる必要がある。
(3) 重点目標	1 学習指導の充実 2 生徒指導の充実 3 進路指導の充実 4 安心安全の徹底
(4) 結果の公表	本校ホームページで公開する。

学校整理番号	46
学校名	青森県立五所川原高等学校
定時制の課程	

自己評価実施日	令和8年 1月26日(火)
学校関係者評価実施日	令和8年 2月12日(木)

(9) -イ 学校関係者評価委員会の構成
学校関係者(行政・教育・同窓会関係) 3名 PTA副会長3名 学校長 定時制教頭 定時制職員 8名

自 己 評 価				学校関係者評価		
番号	(5) 評価項目	(6) 具体的方策	(7) 具体的方策による目標の達成状況	(8) 目標の達成度	(9) -ア 学校関係者からの意見・要望・評価等	(10) 次年度への課題と改善策
1	学習指導の充実	ア 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進する。 イ 成就感のあるわかる授業を実践し、やる気に火をつけ、自信を育む教育を推進する。 ウ 生徒の学びたい意欲を尊重しながら、全校体制で総合的な探究活動を推進する。	・各教科とも生徒の実情に配慮した指導計画に基づき、基礎学力の定着を図るための授業改善と実践に努めている。 ・ICT研修等を通じて指導力の向上を図り、魅力ある授業実践に取り組み、互見授業や生徒による授業評価を行いながら、授業改善に役立っている。 ・探究学習等では言語活動の充実を図り、生徒の学習意欲を引き出すとともに成長実感を得られるように組織的に取り組んでいる。	B	・根気強く丁寧な学習指導の実践が、達成感や成就感につながっており、結果として良好な出席率としてあらわれている。引き続き「わかる授業」の実践に努めて生徒を支援していただきたい。	・生徒一人一人が成就感が得られる「わかる授業」の実践に努めるために、次年度も研修や教職員間の学び合いを充実させ授業改善を推進する。 ・指導と評価の一体化について、教科間で取り組みに差が見られるため、教職員間の情報共有を密にし、評価の妥当性・信頼性を高める。
2	生徒指導の充実	ア 挨拶、服装容儀、スマートフォンの使い方等のマナー指導を徹底するなどして、品性を育む活動を推進する。 イ 不登校、いじめ、問題行動の未然防止を図り、早期発見・早期対応に努め、カウンセリングマインドによる個に応じた教育相談を通して、生徒との信頼関係の構築を推進する。 ウ 生徒会活動、ボランティア活動を奨励するとともに、ホームルーム活動、学校行事を通じて共感的な人間関係と連帯意識を構築する。	・登下校時の玄関指導を通して、基本マナー(挨拶・身だしなみ・時間厳守等)を身に付けさせるようにしている。 ・学校生活調査(年3回)の実施や生活状況観察の徹底を図り、家庭との連携を密にしながら問題行動等の把握を行っている。 ・スクールカウンセラー等の外部専門家とも連携を図り、教育相談の充実を図るようにしている。 ・生徒会活動やホームルーム活動には積極的に参加する生徒が多く年間計画に則って実施している。特に、陶芸及び民工芸などの制作体験を通して、郷土愛を育むことを重点に置いて実施している。	A	・生徒のアンケート結果から、学校生活が楽しいと感じていることがわかる。課題を抱える生徒が多いと思うか、今後も生徒達が充実した学校生活を送れるよう、一人一人に対応したきめ細かい支援をお願いしたい。 ・教育相談等の取り組みがしっかりと行われている。今後も継続して欲しい。	・主体性を育むための学校行事や特別活動の在り方についてPDC Aを行い、個性や能力を引き出す工夫をする。 ・クラウドサービスを活用したアセスや探究学習のあり方などを更に充実させ、チームとして適切な支援を行う必要がある。
3	進路指導の充実	ア 高校3年間を俯瞰した進路指導の実現に向けた指導の体系化を図り、生徒の進路に向かう意識の層の強化に努める。 イ 生徒の進路志望実現に向けて、平時より個人面談、三者面談を適宜実施し、個に応じた適切な指導を図る。	・企業見学会やマナー講座などを実施し、進路意識の高揚に努めている。 ・全年次との四者面談を実施し、生徒一人一人の進路実現に向けて教職員間での情報共有を図り、組織的な進路支援ができる体制づくりに努めている。	B	・管内の有効求人倍率は高くはないが、人手不足のため高校生の求人に期待する部分大きい。ハローワークや企業と連携を図り、キャリア教育の推進を検討して欲しい。 ・コミュニケーション能力の育成は、企業においても課題であるため、外部人材や団体との交流機会をもった学習活動の展開を検討して欲しい。	・各年次ごとの成長過程や進度に合わせた系統的なガイダンスの組み立てを行い、適切なキャリア形成を行う必要がある。 ・進路支援業者や企業・団体等の外部団体を活用し、キャリア教育の充実にも努める必要がある。
4	安心安全の徹底	ア 生徒が安心して教育活動に励むことができる環境を整備するとともに、教職員の危機管理意識の高揚を図る。 イ 教職員の勤務規律の徹底を図ることで、生徒や保護者・地域社会から信頼される学校を目指す。	・清掃や整理整頓の徹底を通じて環境整備に対する意識を全教職員で高めるようにしている。 ・避難訓練後のPDC Aサイクル実施や危機管理マニュアルの見直しを行い危機管理意識の高揚を図るようにしている。また、今年度は、不審者対策や様々な複合災害を想定した避難訓練を行った。	B	・生徒達の学習活動の妨げにならないよう、引き続き安全管理については全教職員で対応して欲しい。 ・複合災害などを想定した避難訓練は効果的であり、災害多発期においては大切である。今後も様々な被害を想定した避難訓練を実施し、危機管理に努めて欲しい。	・引き続き各災害を想定した避難訓練の実施に努める。次年度は抜き打ちの避難訓練の実施などを検討し、危機管理意識を高めるようにする。 ・清掃活動について徹底できていないため、週1~2回の清掃活動の実施を検討する。

(11) 総括	(1)教職員間の同僚性及び協働性を高め、本校定時制が抱える課題を一つずつ解決し、地域に求められる夜間定時制高校としての役割を果たす。 (2)多様な生徒の対応が必要であるため、継続的に特別支援等に係る研修に参加し、全教職員でスキル向上を目指す。 (3)生徒指導の機能を生かした学習指導の充実を図り、学習や勤労に対して意欲的に取り組み、良好な人間関係づくりが出来るように指導する。
---------	--